小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮幹雄
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 金津きらめきハウス	管理者	竹内明美

法人・事業所の特徴	あわら市東部（旧金津町）の公園や学校に近い住宅地に立地しており、同敷地内に認知症対応型共同生活介護を併設しています。 利用者一人ひとりの人格を尊重し住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住人との交流や地域活動への参加を図りつつ、県民せいきょうの理念「あなたらしさいつまでも」を応援いたします。金津きらめきでは、通いサービスが中心ですが、訪問を行う事で一人暮らしの方のサポートをし、宿泊を組み入れることで家族の介護負担を軽減できる様に心がけています。地域とのつながりを大切にし、気軽に困りごとを相談しに来て頂けるような事業所を目指します。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	０人	２人	０人	２人	１人	０人	１人	０人	７人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	・本人を知る、思いや望みを受け止める時間を作り、職員間で共有していきます。	・会話や身体観察等で、利用者の体調や感情等の変化を知り、職員間で共有ができている。 ・全員ではないがケース会議を行い、日々はミーティングで自宅での様子も含めて、発信、共有できている。	・事業所自己評価に取り組んでいることが確認できた。 ・地域の中で知ってもらうことは大切だと思います。行事がいくつかあり参加していますが、今後も続けていってください。	・地域の中で「きらめき」として認知され、お互いに協力できる関係づくりをしていく。
B．事業所のしつらえ・環境	・地域の方が訪れやすい、垣根のない施設になるために、きらめきのPRを行います。	・あわら市文化祭に参加し、地域の方々と交流し、きらめきを知ってもらうことができた。 ・子供たちが集える企画を計画し、多少の人々に来てもらえた。	・居心地のよい、施設だと思います。 ・鍵は、かかっていませんね。	・年に１回、事業所内見学をしていただき、環境や空間についての意見を頂き、必要な部分の改善に努める。
C．事業所と地域のかかわり	・金津きらめき祭を行い、地域とのつながりを作ります。 ・あわら市文化祭に参加し、地域の方と交流をします。	・きらめき祭は行えなかったが、試食会を兼ねた、利用者と地域の方が交流できる場を設けることができた。 ・あわら市の文化祭に参加し、ワークショップや利用者の作品を展示販売できた。	・挨拶してくれます。 ・文化祭に参加されています。 ・もう少し、この場所が知られるといいですね。	・イベントなど、きらめきに足を運んでもらう企画を考え、きらめきを知ってもらう。 その時に、見学会をする。 ・古町地区以外の民生委員さんに、きらめきを知ってもらう。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・本人のこれまでのつながりを知り、地域での交流ができるよう支援しながら、本人の地域の方々と顔を合わせ、必要時には協力し合える関係作りを作ります。	・本人のライフスタイルの理解、関係が途絶えないよう特に一人暮らしの方の状況の理解に努めている。 ・利用者宅に訪れる近隣の方と利用者の生活や関りについて話す機会があった。	・・文化祭に利用者と職員で作品を作り、直接販売し交流ができていた。 ・民生委員さんに、地域の情報を聞き取りしていた	・きらめきに近所の方が来られる企画の時に、利用者と関わりを持つ機会を作っていく。 ・地域で心配な方への関りを、民生委員さんと行っていく。
E．運営推進会議を活かした取組み	・継続して、地域での困りごとが無いか確認し、協力できることは実践していきます。 ・事例研究や 10 の基本ケアなど、実践していることを会議で発表していきます。	・民生委員さんを中心に気になる方がいないか等、声掛けすることができた。 ・事例研究発表を、会議で見て頂けた。10 の基本ケアについては、説明することができなかった。	・民生委員の方に心配な方がいないか聞いていた。 ・事業所の説明を受けている。	・・運営推進会議で地域の困りごと等について話を伺い、できることを提案する。（継続） ・インスタグラム等の紹介をして、きらめきの取り組みを知ってもらう。
F．事業所の防災・災害対策	・災害時などの BCP（事業継続計画）等や災害時の準備物品について、運営推進会議等で紹介し、ご意見を頂いていきます。	・ BCP（事業継続計画）や災害時の準備物品についての紹介ができなかった。避難訓練を見て頂いて、ご意見を頂くことができた。	・（避難訓練の見学時）水害の時、クレヨンランドの高い位置に逃げるのは良いと思います。	・運営推進員会で事業所内見学の実施の際に、災害用備品、備蓄品を確認してもらう。